

## 令和8年1月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和8年1月29日（木）午後1時30分～午後2時30分

2 場 所 市役所6階 604会議室

3 出席者〔教育長〕岩間健一

〔委 員〕平塚俊夫（教育長職務代理者）、北野大、宮下広子

〔事務局〕池田淳教育総務部長、中田利明学校教育部長、三上佳明教育総務部次長、稲田里織文化財保護担当参事兼文化財保護課長、中村まさみ所沢図書館担当参事兼所沢図書館長、伊東真吾学校教育担当参事兼学校教育課長、渡辺純也保健給食担当参事兼保健給食課長、大庭真紀子教育センター担当参事兼教育センター所長兼視聴覚センター所長、川島一禎教育総務課長、小城原光貴教育総務課主幹兼教育企画室長、市村浩昭教育施設課長、奥井祥三社会教育課長、波多野健一スポーツ振興課長、刈谷和哉学校教育課主幹兼健やか輝き支援室長、佐藤篤教育センター主幹兼教育デジタル推進室長、高鍋英彦教育センター主幹兼教育センター副所長、清水秀一教育施設課主査

〔書 記〕田畑貴史教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 1名

6 開 会 村山委員は所用により欠席。

本日の議案は、議案第25号の1件。

なお、報告事項のうち「損害賠償請求及び和解にかかる教育長臨時代理について」及び「当初予算の追加にかかる教育長臨時代理について」は、所沢市議会2月定例会議に提出予定の議案のため、また、「県費負担教職員の人事に関する内申にかかる教育長臨時代理について」は、人事に関する報告のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項により、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で報告されることに決定した。

※議事の進行上、非公開の議案は、その他の事項の後に行つた。

## 7 議 題

○議案第25号 令和8年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について

資料に則り、伊東学校教育担当参事から以下のとおり説明があった。

令和8年度使用特別支援学級用教科用図書の採択については、「所沢市における教科用図書採択基本方針」に基づき、荒幡小学校、北小学校の2校から、別紙のとおり「選定理由書」が提出され、8月の教育委員会会議において採択していただいた。

その後、埼玉県教育委員会より、学校が選定した一部の一般図書が「供給不能」あるいは「絶版」「品切れ」となったと通知があった。そのため、該当の教科用図書について、再度の採択を諮るものである。

議案書のとおり、荒幡小に3種類、北小に5種類の一般図書の変更がある。今回、新たに選定し直した「選定理由書」をふまえ、教科用図書の採択について議決をお願いする。

以下質疑

(北野委員)

変更後の新たな図書が選ばれていますが、この図書の選定は当該の学校からの提案なのでしょうか。

(伊東学校教育担当参事)

ご指摘のとおり、当該の学校が変更前と見比べて同様の効果が得られるものを選定し、今回案として提出したものです。

(北野委員)

そのような経緯で選ばれた図書となると、実際に担当する先生方がこれが良いと選んだものであれば尊重したいと思います。

(平塚委員)

今の教科用図書の内容は良くできており、多くの関係者で選考したため、基本的には大丈夫だと思いますが、子どもたちも様々な発達や障害の特性があり、いろいろなタイプの子どもたちがいます。それらの子どもたちすべてに対応できる

内容になっているのでしょうか。

(伊東学校教育担当参事)

今回、採択していただく一般図書については、例えばAという児童が国語の学習をするにあたり、この一般図書を使用したら効果が上がるのではないかという観点でそれぞれの子どもについて選ばれるものです。ご指摘の点についても十分考えた上での選定となっています。

(宮下委員)

荒幡小学校と北小学校だけ使用希望があり、他の学校は使用希望がありませんが、他の子どもたちと同じ教科書を使用して勉強しているということでしょうか。

(伊東学校教育担当参事)

他の学校については、通常の学級で使われている教科用図書を用いたり、以前支給された下学年の教科用図書を用いて授業を進めたり、教員が学習指導要領に基づいて自作した教材を使用したりして学習を進めています。

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

## 8 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について (教育総務課)

○所沢市教育委員会の1月から4月までの主な行事予定について (教育総務課)

○「所沢市議会一般質問要旨 令和7年第5回(12月)定例会議」について

(教育総務課)

○令和7年度定期・行政監査(学校監査)結果について (教育総務課)

○令和7年度請願第6号「所沢市教育委員会請願処理規則第4条に則った「説明の聴取」と第3条の「適切な処理」を改めて求める」について (教育総務課)

○令和7年度「第79回所沢市二十歳のつどい」報告について (社会教育課)

○学校給食展・食育フォーラムの開催について (保健給食課)

以下質疑

(北野委員)

感想ですが、今年も二十歳のつどいで小手指地区へ行ってきました。307名と非常に多くの方が参加していましたが、式典では騒ぐ人もおらず、まじめにきちんとやっております感心しました。特に素晴らしいと思ったのは、新成人が中学生時代に

お世話になった先生や校長が来賓としてお見えになっており、新成人も先生方も喜んでいて、来年以降も継続していただけると良いと思いました。

(平塚委員)

私は新所沢地区に参加しました。大人と子どもの実行委員会の両方がしっかりしており、参加者も静謐な態度で参加していて良い式典だったと思います。以前に何度か二十歳のつどいに参加していますが、式辞は少し長くなったのでしょうか。

(奥井社会教育課長)

5年以上前のことは把握できていませんが、5年前と比べて式辞は長くなっています。

(平塚委員)

式辞の内容が社会の人権問題や世界の多様性を踏まえて作られており、平和教育にも結び付けられる印象を持ちながら聞いていました。一番感動的だったのは、二十歳の代表者の言葉です。中学3年生の時にコロナウイルスで行事が中止になったり、全国一斉休校が発表されたりした世代で、先の見えない不安で日々を過ごしていたそうです。しかし、その過程で人とのつながりや温かさ、思いやりの心、困難を乗り越えるために協力することの大切さを学び、周りの人の支えについて、新成人が感じ取っていました。さらには、困難な苦しい時期に学校生活を送った立場のため、そんな自分たちだからこそ作れる未来があると前向きに語られていて、立派だと思いました。そのような新成人はやがて所沢に戻ってきて自分の地域を支える存在になると感じ、良い行事だと改めて思いました。

(宮下委員)

私は吾妻地区に参加しました。小学校や中学校の入学式や卒業式の延長上にあるようなつどいで、成人代表の挨拶も立派な考えを持っていると思いました。祝辞の中に「共生」という言葉が入っていて、共に生きる、どんな立場の人でもこれから共に生きていく社会を作っていってほしいと感じました。参加させていただき良かったです。

(岩間教育長)

私は所沢地区の二十歳のつどいに参加しました。所沢地区も笑顔の中に凜とした雰囲気があり、誰一人声を上げたり、式を乱すような参加者はいませんでした。代表の挨拶も素晴らしいもので、これから社会を担うにふさわしい二十歳に育ってい

ると感じました。所沢地区の二十歳の子は私が中学校の校長をしていた時に送り出した子どもたちで、私のことも覚えており、当時を思い出し、懐かしさがこみ上げる式になりました。式が終わってから各地区のつどいの様子も伺いましたが、今お話があった地区だけでなく、11地区どの地区でも落ち着いた大変素晴らしい式で、二十歳の子も喜んでいと聞いており、地区ごとでやる良さを感じられる式になったと思っています。

## 9 その他

### ○今後の日程

- ・教育委員会会議2月定例会：2月17日（火）
- ・教育委員会会議3月定例会：3月11日（水）

## 10 報告事項【非公開】

○損害賠償請求及び和解にかかる教育長臨時代理について（教育施設課）

○当初予算の追加にかかる教育長臨時代理について（スポーツ振興課）

《 削除 》

○県費負担教職員の人事に関する内申にかかる教育長臨時代理について

（学校教育課）

11 閉 会 午後2時30分